

日刊建設通信新聞（2018年10月19日付1面掲載）

【設計＝オリコンサルグローバルJV 施工＝銭高組JV】

ナイル川源流橋が開通 ウガンダ初の斜張橋 アフリカ全土で最大級



右から銭高社長、佐藤副大臣、
亀田大使、深瀬所長、米澤社長

ナイル川源流橋が開通

設計＝オリコンサルグローバルJV
施工＝銭高組JV

日本政府の有償資金協力(円借款)により建設された「Source of the Nile Bridge (ナイル川源流橋)」の開通式が17日、アフリカ・ウガンダのジンジャ県で行われた。式典には、ヨウェリ・ムセベニ大統領、モニカ・アズバ・ンテゲ公共事業・運輸大臣、佐藤正久外務副大臣、亀田和明ウガンダ共和国駐劄特命全権大使、深瀬豊国際協力機構(JICA)ウガンダ事務所長、銭高組の銭高久善社長、オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長を始め総勢2,000人以上の招待客、5,000人を超す地元住民が出席する中で盛大に行われた。

ウガンダは、式典を国家的行事として位置付けており、ムセベニ大統領のテープカット、関係者による渡り初め、橋梁付近に設営した会場での夕食会、イルミネーション点灯式などが行われ、打ち上げ花火がイベ

ウガンダ初の斜張橋 アフリカ全土で最大級

ントに花を添えた。

ウガンダ初の斜張橋となるナイル川源流橋は、ヴィクトリア湖を源流とするナイル川の源流近傍に位置する橋長525mの3径間連続斜張橋で、総幅員22.9m、主塔高さ約80mの一面吊り構造となっており、コンクリート主桁の斜張橋としてはアフリカ全土で最大級かつ東アフリカ最大の支間長を持つ長大コンクリート斜張橋となる。

建設に当たっては、オリエンタルコンサルタンツグローバル・エイト日本技術開発JVが架橋位置の検討を含む実現可能性調査から詳細設計を実施し、施工監理は引き続きオリエンタルコンサルタンツグローバル・エイト日本技術開発・Pyunghwa Engineering ConsultantsJVが担当した。また、銭高組・現代建設JVが橋梁架設と取り付け道路を含む工事一式の施工を担当した。